

城と史蹟を歩く会「江戸城西の丸周辺と日比谷、有楽町」ご案内資料

<日時> 平成13年3月9日(金曜日) 10時00分唐16時30分(予定)

<主要行程> 八幡宿駅8時10分乗車 — 有楽町駅 — 日比谷見附跡 — 伊達政宗邸跡
— 日比谷濠 — 外桜田門 — 二重橋 — 西の丸跡遠望 — 西の丸下跡
— 日比谷公園(昼食) — マッカーサー執務室 — 福島正則邸跡 —
国際フォーラム — 南町奉行所跡 — 数寄屋橋 — 鹿鳴館跡 —
有楽町映画街 — 有楽町駅 — 八幡宿駅

1) 地名のいわれ

- ①江戸=江(海)の入口。旧利根川、隅田川が東京湾にそそぐ三角州
- ②日比谷=浅瀬にしかけた竹のひび。人々は魚をとり貝を拾って生活した
- ③有楽町=織田有楽斎の屋敷
- ④桜田=平安朝時代からの地名。桜樹が多い
- ⑤八重洲(八代洲)=慶長はじめ日本に漂着、家康の顧問として活躍したヤン・ヨーステン屋敷
- ⑥丸の内=丸は城、江戸城内

2) はじめに海ありき — 日比谷入江の埋め立てと千石夫

- ①有楽町周辺の4百年以上前は東京湾が入り組み、日比谷入江の海中
- ②天正18年徳川家康江戸入り、慶長5年関原の合戦に勝つ、8年江戸に幕府を開く
- ③慶長8年、伊達政宗、加藤清正、結城秀康、本多忠勝ら有力60大名に入江埋め立てを命ず
千石夫=千石に付き人夫10人、3万人動員。神田山を切り崩した土砂を日比谷入江へ

3) 江戸城旧蹟で唯一の上れる石垣 — 日比谷見附跡

- ①寛永4年浅野長あきらが石垣、6年伊達政宗が升形門構築
- ②升形門の構成=土橋(下に日比谷濠の水を通す)、高麗門、升形、渡櫓門、大番所
- ③開門=6時ころ~18時ころ。1万石大名または大身旗本が1年交代で警護。鉄砲10、弓5、長柄10、持筒2、持弓1、番士4名羽織袴着+数10名
- ④明治6年渡櫓門、升形撤去、36年日比谷公園開園にあたり石垣一部と心字池を保存

4) 伊達政宗、徳川家宣邸、びくに屋敷、お庭番長屋、日比谷練兵場 — 洋風庭園の華麗なる変遷

- ①複々合遺跡。ここに5つの歴史がある(特に史蹟標示はない)
- ②伊達家桜田屋敷=慶長7年~万治4年。伊達政宗、忠宗、綱宗、綱村=仙台62万石
江戸凶屏風に描かれた華麗な桃山殿舎=石垣、白壁、隅櫓、御成門、表門(櫓門)
御成御殿(書院、御座間、数寄屋など)、千畳敷大広間など。御成門にみとける通行の人々
大河ドラマ「独眼龍政宗」の舞台。伊達騒動発端の地
- ③甲府徳川邸=万治4年~宝永元年。徳川綱重、綱豊(6代将軍家宣)=甲府35万石
徳川家康 — 2代秀忠 — 3代家光 — 4代家綱
— 甲府綱重 — 6代家宣 — 7代家継
— 5代綱吉

宝永元年、綱豊、綱吉の養子に迎えられ將軍家を継承。生類憐れみの令廃止、正徳の治

- ④桜田御殿、桜田御用屋敷=宝永元年~慶応4年
將軍代替わりのあと、先代將軍の側室が集められて念仏三昧の余生を送る
- ⑤お庭番長屋=享保元年~慶応4年
8代將軍吉宗が紀伊から呼びよせた隠密集団。城内警護、情報収集のため諸国へ
- ⑥陸軍練兵場=明治4年~21年
軍事大国、列強をめざした旧陸軍練兵場。明治天皇が陸軍はじめなど60回臨席

5) 2重櫓もそびえた石垣と内堀終点 — 日比谷濠と周辺石垣

- ①日比谷濠=面積4.1万㎡、水深1.5m、水量6.2万㎡
凱旋濠=面積1.3万㎡、水深1.5m、水量1.9万㎡(江戸時代は日比谷濠の一部、後独立)
水源は千鳥が淵、半蔵門周辺のわき水。水位差15m利用して下流へ。かつて水量多くきれい
内堀の終点。オーバーフローした濠水はかつて心字池から外堀へ。現在は排水口
- ②石垣=慶長19年、加藤忠広(コーナー部周辺)、浅野幸長が構築
加藤家の工事=地盤が軟弱のため基礎固め、時間かかったが堅固
浅野家の工事=早く進んだが、工事中の大雨で石垣が崩れた
石垣の屈折=屏風折れ、歪み、折り。横矢掛り
- ③石垣上ははじめ白壁。吉宗の享保の改革で経費節減のため松に
- ④日比谷櫓=シャチ、破風付き2重櫓。コーナーの石垣に燦然と輝く。明和9年焼失

6) 明治に作られた道路と橋 — 内堀通りと祝田橋

- ①江戸時代はなかった。桜田門か馬場先門(初期は和田倉門)に迂回
- ②明治37、38年日露戦争凱旋大観兵式にあわせて道路を作った。現在は車両交通量日本一

7) 桃山殿舎がイラカを接する — 外桜田有力大名街

- ①慶長8~10年、有力外様大名が家康に臣従、妻子を入質として差し出し、江戸に邸地を拝領
幕府は外桜田に外様大名を集結した
- ②日比谷公園周辺=伊達政宗(前出)、毛利輝元(後出)、鍋島直茂、島津家久(後出)
中央合同庁舎6、旧法務省(歴史的建造物)=上杉景勝、米沢30万石
中央合同庁舎3、人事院ビル=浅野幸長、紀伊→広島22万石
外務省=黒田長政、福岡52万石
国会議事堂前庭=加藤清正、熊本52万石→改易(のち伊直政邸)

8) 明治維新へ加速。大老井伊直弼ここに死す — 桜田門外の変跡

- ①万延元年(安政7年)3月3日(現在の4月)。小雪降る早晩
大老井伊直弼、安政の大獄に反対する尊皇攘夷派水戸浪士ら18名の襲撃を受け横死
悪天候が天運を分ける。一瞬。主君の首とられるも茫然、あと追う家臣なし
- ②白屋一國の最高責任者が暗殺されるなど考えられないこと。事件契機に幕府権威は一気に失墜、
急ガケを転がり落ちるように明治維新へ。江戸開城まで8年

9) 濠水と松、緑が美しい — 桜田濠

- ①江戸城でもっとも美しい濠。なだらかな土塁、はちまき土居
- ②慶長11年、2代將軍秀忠が構築。土塁は家康指示。16年大拡張工事。伊達政宗、鍋島勝茂ら担当

10) いかめしい門。圧倒する渡櫓 — 桜田門(外桜田門)

- ①升形門。現存重要文化財。ほかに田安門、清水門。大手門などは一部現存だが指定なし
- ②2の門高麗門=格式高い門。主柱2本に切妻屋根。内側直角に支柱2本それぞれに小型切妻屋根
上からみるとコの字形。鉄板張り。
- ③内升形右折れ=周囲を石垣と濠で囲む(通常は4面石垣)。攻め入りやすく直進はない。入ると
密室。周囲から弓鉄砲が。攻守の拠点。ガンギ坂、狭間か銃座
- ④渡櫓門=両側に石垣を積み、2階部分に渡櫓。中央に鉄板張り大御門。大入母屋屋根本瓦葺き、
シャチ、2階は空洞で武器倉庫。緊急時は窓開いて弓鉄砲。巨大な梁、柱、石材に注目
- ⑤大番所跡、ガンギ坂

11) 江戸時代、日本の政治を動かした幕閣たちの官邸がならぶ — 皇居前広場、西の丸下跡

- ①江戸城本丸、西の丸と隣接した重要拠点。老中、若年寄ら幕閣の官邸が並んだ。
松平定信、間部詮勝、松平乗邑、堀田正陸、安藤信正、板倉静勝邸などに
- ②明治維新後、元勳邸、新政府官庁街をへて宮城前広場。終戦後連合軍に接收、米軍閱兵式も経験
- ③昭和26年、国民広場として開放、60年安保、沖縄返還闘争などの決戦場ともなった

12) 東京観光の定番 — 二重橋

- ①手前石橋、奥鉄橋。2重にみえる橋と思っている人が多い。
江戸時代、手前の橋は西の丸大手門。奥の橋は西の丸下乗橋だが、濠が深く橋を二重構造にした
ので二重橋ともいった。
- ②皇居の正門。天皇の公式外出、国賓、各国大使の参内、一般参賀以外開かない開かずの門

13) 伏見城から移築した — 伏見橋と多門

- ①春永14年の関原合戦で家康が伏見城を築き、豊臣秀吉の伏見城から移築
春永14年の関原合戦で家康が伏見城を築き、豊臣秀吉の伏見城から移築
春永14年の関原合戦で家康が伏見城を築き、豊臣秀吉の伏見城から移築
- ②2重櫓、大母屋屋根、シャチ、初重6×5間半、側手鳥破風、2重平側唐破風。白壁の多門

14) 幕末4年間の仮本丸、江戸開城の西の丸跡 — 皇居昭和宮殿

- ①内部はかつての江戸城西の丸跡。慶長16年徳川家康の隠居城として構築されたが、本人は駿府で
大御所政治を行なったので居住なし。3代將軍家光が世子時代、寛永元年からは引退した秀忠と
お江が隠居城とし、以後、歴代將軍家の隠居城、世子城とされた。
- ②幕末風雲急を告げた14代家茂の元治元年、本丸、2の丸、3の丸が焼失、幕府は西の丸に仮御殿
を造営、明治維新までの4年間、仮本丸とした。
- ③慶応4年、鳥羽伏見の戦いに敗れた15代將軍慶喜が西の丸に逃げ帰り、4月11日無血開城。
江戸時代は終わった。
- ④明治元年(慶応4年)明治天皇が入城、東京遷都。しかし明治6年女官部屋から出火全焼。21年
明治宮殿を完成させるが昭和20年戦災焼失。現在の皇居は昭和43年に建造された昭和宮殿
で奥深く天皇、皇后が居住されている。

15) 日本最初の洋風庭園 — 日比谷公園

- ①明治36年陸軍の日比谷練兵場跡に作られた日本最初の洋風庭園。16万㎡。後楽園ドームの3倍。
設計本多静六、総工費30万円
- ②開園当時のガス灯、水のみ、鶴の噴水、各門の周辺御門旧蹟礎石、旧江戸上水道石升

マッカーサー記念室

第一生命館は昭和20年9月に連合軍に接収されました。その後、昭和27年に講和条約が発効し、同年7月に市ヶ谷に総司令部が移転するまでの6年10カ月の間、連合軍総司令部(GHQ)がおかれていました。

「マッカーサー記念室」はその間の連合軍総司令官が使用した部屋で、当時のたたずまいをそのまま保存したものです。

執務室の広さは約54m²(16坪)です。周囲の壁は、すべてアメリカ産のくるみの木でできており、床は寄木細工でできています。

机・椅子は、当社の第三代社長石坂泰三が使用していたものをマッカーサー元帥がそのまま使用したものです。



“YOUTH”

Youth is not a time of life - it is a state of mind; it is a temper of the will, a quality of the imagination, a vigor of the emotions, a predominance of courage over timidity, of the appetite for adventure over love of ease.

Nobody grows old by merely living a number of years; people grow old only by deserting their ideals. Years wrinkle the skin, but to give up enthusiasm wrinkles the soul. Worry, doubt, self-distrust, fear and despair - these are the long, long years that bow the head and turn the growing spirit back to dust.

Whether seventy or sixteen, there is in every being's heart the love of wonder, the sweet amazement at the stars and the starlike things and thoughts, the undaunted challenge of events, the unfailing childlike appetite for what next, and the joy and the game of life.

You are as young as your faith, as old as your doubt; as young as your self-confidence, as old as your fear, as young as your hope, as old as your despair.

So long as your heart receives messages of beauty, cheer, courage, grandeur and power from the earth, from man and from the Infinite, so long you are young.

When the wires are all down and all the central place of your heart is covered with the snows of pessimism and the ice of cynicism, then you are grown old indeed and may God have mercy on your soul.

Samuel Ullman

マッカーサー元帥は終戦前から青春の詩日々愛誦していたといわれています。なお

史料展示室ご案内



このたび、第一生命館を改修するにあたり、マッカーサー元帥の執務室は、当時のたたずまいをそのまま残し歴史を語りつづける部屋として、机や椅子とともに、保存することにいたしました。

また隣室は当社の歴史資料室として、ご覧いただけます。

Coinciding with the completion of renovations to the Dai-ichi Life Head Office (Dai-ichi Seimei-kan) will be the re-opening to the public of General MacArthur's office. We have preserved the office intact, including the desk and chair, as it appeared during General MacArthur's tenure as the head of the Allied Forces.

We would cordially like to welcome you to visit MacArthur's office as well as the adjacent archives, both of which recall significant events in the history of our company.

第一生命保険相互会社

〒100-8411 東京都千代田区有楽町1-13-1

☎ 03-3216-1211(大代表)



なお、机には引出しがありません。マッカーサーはたいへん几帳面で、何事も即断即決するため机を愛用していました。

ほかに、当時のものとして、部屋に2枚の絵があります。英国人画家オールドリッジにより描かれたヨットの絵ですが、マッカーサーはたいへんヨットが好きで、その絵を飾っていました。

また、マッカーサーは華美を嫌い、質素を好んだといわれます。

【使用者】

マッカーサー元帥

(昭和20年9月～昭和26年4月)

リッジウェイ大將

(昭和26年4月～昭和27年4月)

クラーク大將

(昭和27年4月～昭和27年6月)

青春

原作 サミュエル・ウルマン
邦訳 岡田義夫

青春とは人生の或る期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こういう様相を青春と言うのだ。年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。歲月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。苦悶や、狐疑や、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に崩せしめてしまう。年は七十であろうと十六であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。曰く驚異への愛慕心、空にきらめく星辰、その輝きにも似たる事物や思想に対する欽仰、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めてやまぬ探求心、人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く、疑惑と共に老ゆる。

人は自信と共に若く、恐怖と共に老ゆる。

希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。

大地より、神より、人より、美と喜悅、勇氣と壮大、そして偉力の靈感を受ける限り、人の若さは失われぬ。

これらの靈感が絶え、悲歎の白雪が人の心の奥まで敷きつくし、皮肉の厚氷がこれを固くときずき至れば、この時にこそ人は全くに老いて、神の憐みを乞うるばかりはなくなる。

を座右の銘とし、この部屋にもこの詩を掲げ、この詩の記念碑をこの部屋に設置しています。

第一生命のあゆみ

明治35年(1902年)、第一生命は矢野恒太によって日本で最初の相互主義に基づく生命保険会社として設立されました。

「ご契約者第一主義」を掲げた当社の業績は順調な進展を遂げ、大正10年には五大生命保険会社のひとつとなりました。さらに昭和7年には業界第2位の地位を占め、昭和13年には「第一生命館」(現在の日比谷本社社屋お堀側部分)を建設するまでに至りました。

昭和20年の太平洋戦争の敗戦は、日本の生命保険会社にとって大きな打撃となりました。当社も「第一生命館」を連合軍に接収されるなどの困難に直面しましたが、引き続き「ご契約者第一主義」を堅持し、多くのご契約者の支持により困難を乗り越えてきました。

その後も、国民のニーズやライフサイクルに対応した保険商品の提供、関連会社・関連財団によるサービスの充実と社会公共活動に努め、現在では保有契約高、収入保険料、総資産のいずれもが世界のトップクラスにランクされる生命保険会社に成長しました。



創業当時の社屋(東京都日本橋区新右衛門町)



第一号保険証券

社史

矢野恒太、第一生命相互保険会社を設立
日本橋区新右衛門町にて営業を開始
この頃より「親切・低廉・確實」の標語を使う
本社を日本橋区通三丁目に移転

京橋「第一相互館」竣工、本社を移転
5大生命保険会社の一角に進出

保有契約高10億円に達し、業界第2位に進出

(財)保生会を設立、結核予防キャンペーンを展開

日比谷「第一生命館」竣工、本社を移転

総資産10億円を超える
日比谷本社「第一生命館」が連合軍接収司令部として接収される
京橋「第一相互館」へ本社移転

「保健文化賞」を創設

「第一生命館」の接収解除、本社を日比谷に戻す
創立50周年記念式典を挙行
「第一生命館」内の「第一生命ホール」を一般に開放す

(財)矢野恒太記念会を設立
(財)第一住宅建設協会を設立

(財)心臓血管研究所を設立
神奈川県大井町の本社拡張計画発表
(財)地域社会研究所を設立
(財)姿勢研究所を設立
大井「第一生命館」竣工
(財)アジア生命保険振興会(現(財)国際保険振興会)を設立
新制度を実施(営業組織、販売制度を大幅に改編)

全国支社オンラインシステム稼働
第一生命投資顧問(株)を設立
ディズニーキャラクター採用
「東戸塚教育センター」竣工
(株)ライフデザイン研究所を設立
新営業体制を実施(営業組織の強化、業務効率の改善)

「緑のデザイン賞」を創設
「府中情報センター」竣工
「DNタワー21(第一・農中ビル)」新館竣工
同上 本館改修竣工
第一ライフ損害保険(株)を設立
(株)第一生命経済研究所を設立
第一生命投資顧問(株)が第一ライフ投資顧問(株)に商号変更
(株)日本興業銀行と全面提携

昭和2年 保生会を設立

昭和7年 日比谷「第一生命館」竣工

昭和9年 総資産10億円を超える

昭和10年 (財)保生会を設立

昭和13年 日比谷「第一生命館」竣工

昭和14年 総資産10億円を超える

昭和18年 日比谷本社「第一生命館」が連合軍接収司令部として接収される

昭和20年 京橋「第一相互館」へ本社移転

昭和21年 「保健文化賞」を創設

昭和25年 「第一生命館」の接収解除

昭和27年 「第一生命館」内の「第一生命ホール」を一般に開放す

昭和28年 (財)矢野恒太記念会を設立

昭和30年 (財)第一住宅建設協会を設立

昭和32年 (財)心臓血管研究所を設立

昭和34年 神奈川県大井町の本社拡張計画発表

昭和35年 (財)地域社会研究所を設立

昭和38年 (財)姿勢研究所を設立

昭和41年 大井「第一生命館」竣工

昭和42年 (財)アジア生命保険振興会(現(財)国際保険振興会)を設立

昭和45年 新制度を実施

昭和49年 全国支社オンラインシステム稼働

昭和50年 第一生命投資顧問(株)を設立

昭和60年 ディズニーキャラクター採用

昭和61年 「東戸塚教育センター」竣工

昭和62年 (株)ライフデザイン研究所を設立

昭和63年 新営業体制を実施

平成2年 「緑のデザイン賞」を創設

平成4年 「府中情報センター」竣工

平成5年 「DNタワー21(第一・農中ビル)」新館竣工

平成7年 同上 本館改修竣工

平成8年 第一ライフ損害保険(株)を設立

平成9年 (株)第一生命経済研究所を設立

平成10年 第一生命投資顧問(株)が第一ライフ投資顧問(株)に商号変更

創立者年譜

- 慶応元年 1歳 備前国上道郡角山村竹原(岡山県岡山市竹原)に父三益、母伊勢の唯一人の男子として生まれる
- 明治22年 25歳 第三高等中学校医学部(現岡山大学医学部)を卒業
- 明治23年 26歳 日本生命に診査医として入社
- 明治25年 28歳 日本生命を退社
- 明治26年 29歳 東京において保険に関する勉強を継続、「相互生命保険会社」(日本商業雑誌)を始めこの年16篇の論文を発表
- 明治27年 30歳 安田善次郎に請われ「共済生命保険合資会社(現安田生命)」の設立をたすけ、支配役となる
- 明治28年 31歳 欧米における保険事業研究のため渡欧、ドイツのゴータ生命保険相互会社(ドイツ最古の生命保険相互会社)において保険実務を習得
- 明治30年 33歳 帰朝、共済生命総支配役となる
- 明治31年 34歳 森則義長女トシと結婚(翌年長男一郎誕生) 共済生命を退社、農商務省に入り保険法の起草に参画
- 明治32年 35歳 日本アクチュアリー会創立に尽力し、幹事となる
- 明治33年 36歳 保険業法公布、保険課新設に伴い農商務省初代保険課長となる
- 明治34年 37歳 農商務省を退き、第一生命の創立に従事 中外商業新報に「保険相互会社首唱之辞」を発表、相互組織による生命保険会社並びに火災保険会社の設立計画を公にする
- 明治35年 38歳 9/15第一生命の創立総会を開き、専務取締役に就任 10/1日本橋区新右衛門町において営業を開始
- 明治37年 41歳 生命保険会社協会を設立、評議員に選ばれる
- 明治38年 42歳 相互主義による損害保険会社を企図し、「余が理想の火災保険会社」を発表
- 明治39年 49歳 日本結核予防協会(理事長北里柴三郎)創立され、その理事に就任
- 大正2年 51歳 第一生命第二代社長に就任
- 大正4年 57歳 渋沢栄一に請われ田園調布開発事業に携り、小林一三、五島慶太を招聘
- 大正10年 58歳 わが国最初の相互主義による貯蓄銀行「第一相互貯蓄銀行」(後合併を経て、現あさひ銀行)を創立、頭取に就任
- 大正11年 59歳 欧米を視察
- 大正12年 生命保険会社協会理事會會長に選ばれる 関東大震災発生、帝都復興院参与となる
- 昭和2年 63歳 生命保険会社理事會會長を辞し、名譽顧問となる
- 昭和7年 70歳 郷里岡山県に青年教育を目的とする「三徳塾」を開く(のち岡山県農業研修所に改組)
- 昭和9年 71歳 結核予防を目的とする財団法人「保生会」を設立し、會長となる
- 昭和10年 74歳 第一生命社長を辞し、取締役會長となる(後任社長は石坂泰三)
- 昭和13年 75歳 東京都東村山に結核の療養施設「保生園」を建設
- 昭和14年 82歳 第一生命取締役會長を辞す
- 昭和18年 87歳 創立者寄贈の保険証券第一号満期保険金を記念して善悟育英基金設立 田園調布の自宅において逝去
- 昭和27年 財団法人矢野恒太記念会設立 「矢野恒太伝」発刊
- 昭和28年 「保険名誉賞」を受賞、保険殿堂 オハイオ州立大学院 入り



創業当時の役員
円形中央 初代社長 柳澤保惠
中列右から4番目 創立者 矢野恒太



創立者(左)と第三代社長石坂泰三(右)

明治中頃の日本の生命保険会社は、ほとんどが株主の利益を中心に運営される株式会社形態を採っていました。そのような保険会社の在り方に疑問を持った矢野恒太は、真に契約者のためになる理想の生命保険会社を求めて研究を続けた結果、ドイツに相互主義の生命保険会社があることを発見しました。

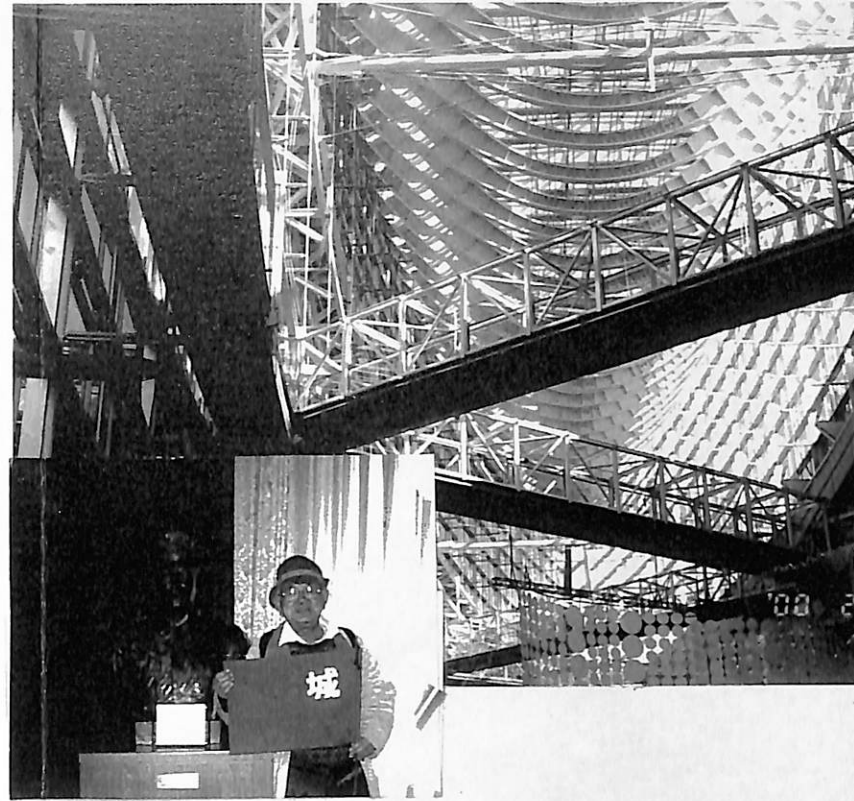
ドイツに留学して相互主義の研究を深めた矢野恒太は、帰国後「保険業法」の起草に参画し、農商務省の初代保険課長となりました。その後、「一人が万人のために、万人が一人のために役立つ」、つまり相互扶助の精神を会社組織に生かし、契約者を主体とした日本最初の相互会社として「第一生命保険相互会社」を設立したのです。

創立者と相互主義

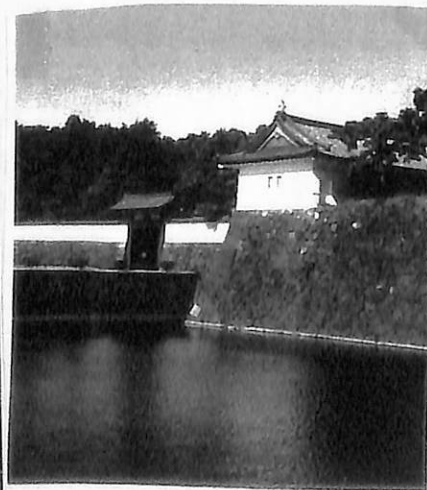


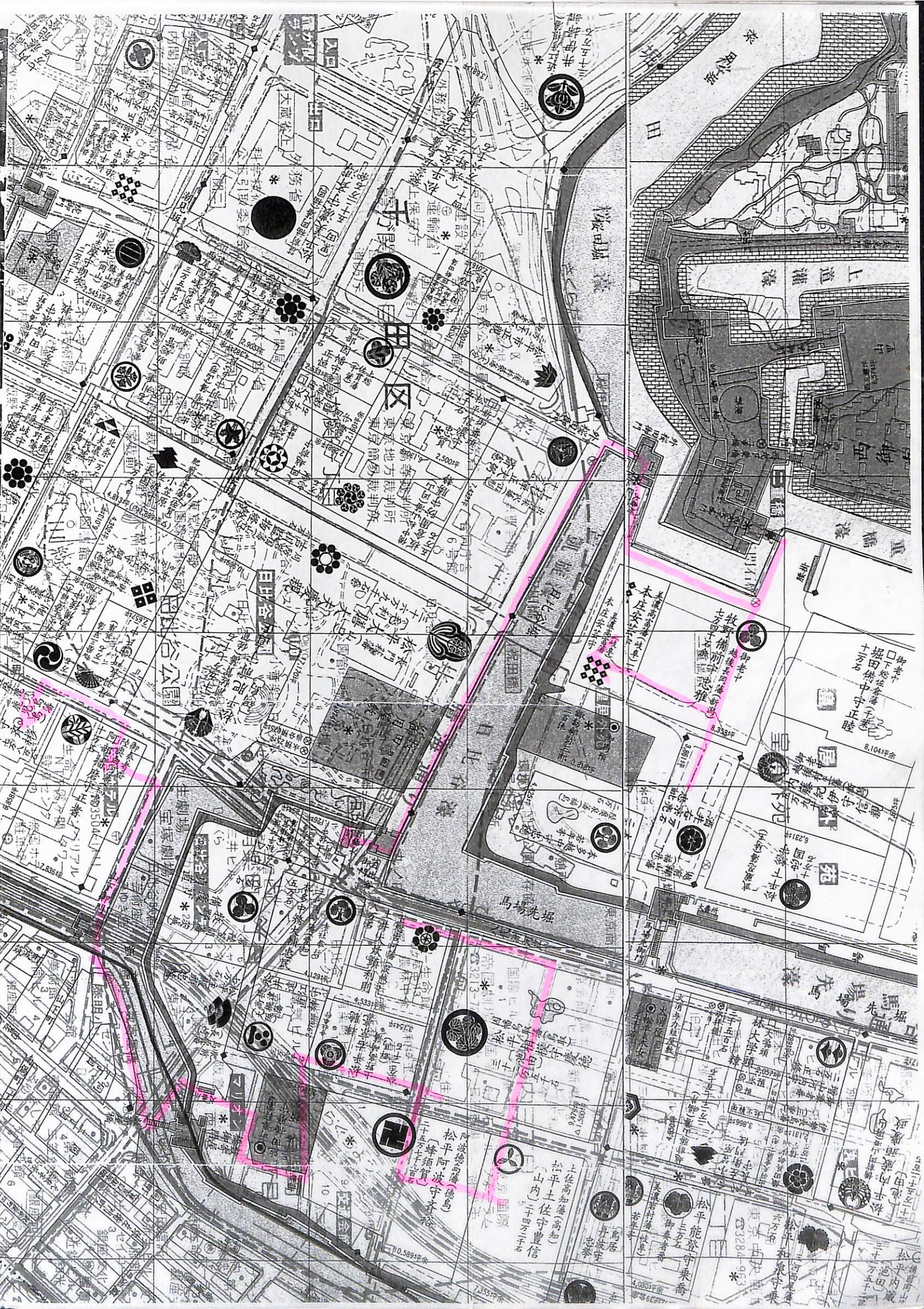
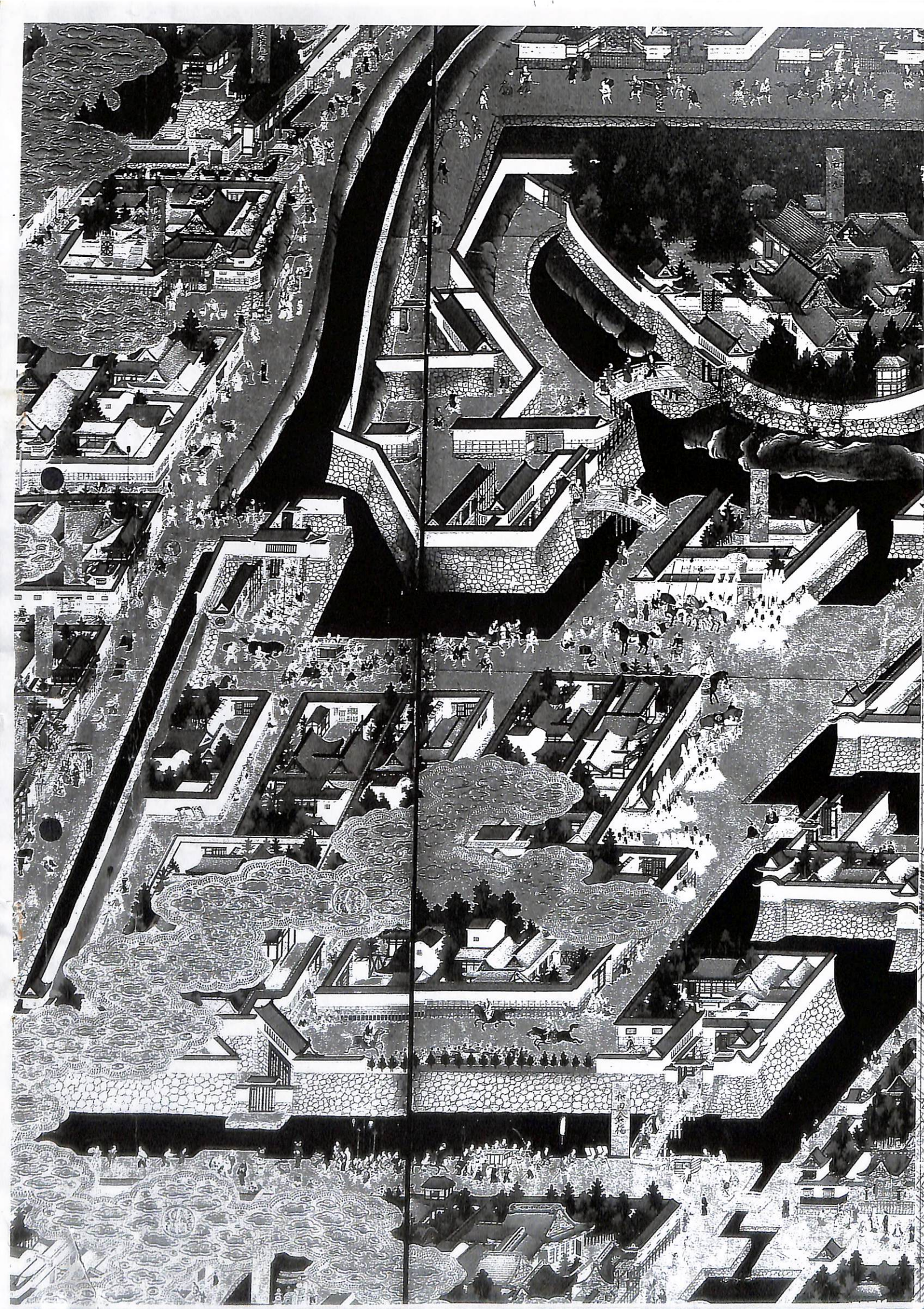
城

と史跡を歩く会



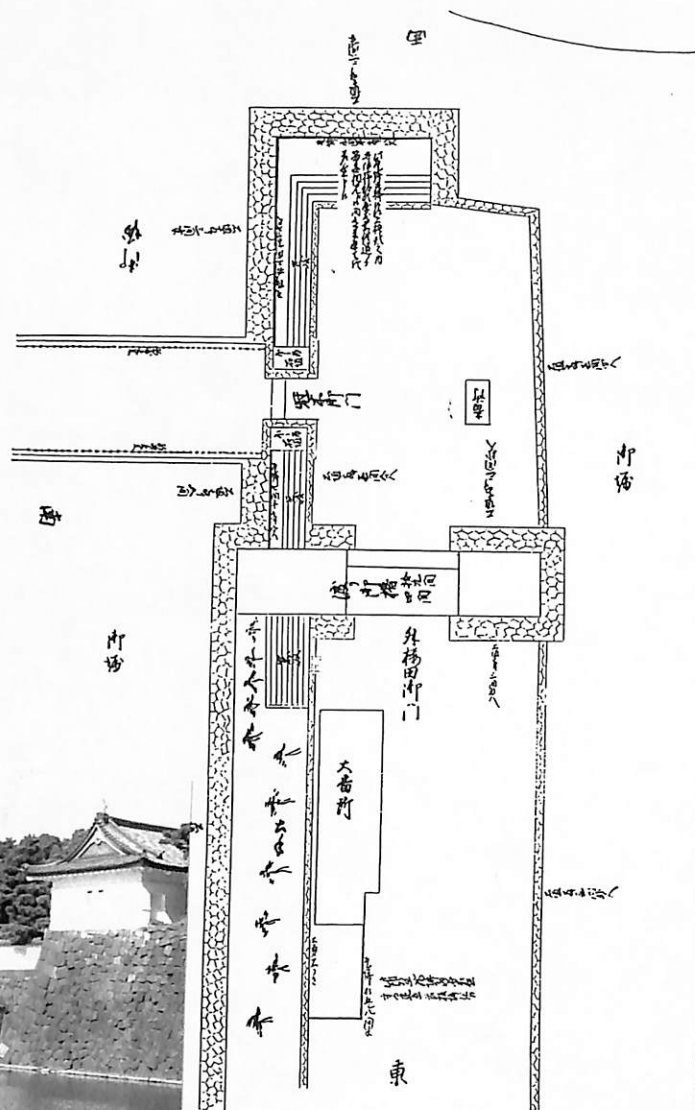
第1回 3月 9日 (金曜日) 江戸城西の丸周辺と日比谷、有楽町を歩く
 八幡宿駅 8時10分乗車、蘇我京葉線乗換 (座れます)、有楽町駅下車
 主なコース) 日比谷見附跡 — 日比谷濠 — 桜田門 — 二重橋 —
 西の丸下跡 — 伊達政宗健跡 — 日比谷公園 (昼食) — 人生劇場山勘
 横町跡 — マッカーサー執務室 — 福島正則邸跡 — 国際フォーラム
 — 有楽稲荷 — 南町奉行所跡 — 数寄屋橋 — 織田有楽斎邸跡 —
 鹿鳴館跡 — 有楽町映画街 — 有楽町駅 — 八幡宿駅







井伊直弼



桜田内と内外の変

7) 桃山殿舎がイラカを接する — 外桜田有力大名街

- ①慶長8~10年、有力外様大名が家康に臣従、妻子を人質として差し出し、江戸に邸地を拝領。幕府は外桜田に外様大名を集結した
- ②日比谷公園周辺=伊達政宗(前出)、毛利輝元(後出)、鍋島直茂、島津家久(後出) 中央合同庁舎6、旧法務省(歴史的建造物)=上杉景勝、米沢30万石 中央合同庁舎3、人事院ビル=浅野幸長、紀伊→広島22万石 外務省=黒田長政、福岡52万石 国会議事堂前庭=加藤清正、熊本52万石→改易(のち井伊直政邸)

8) 明治維新へ加速。大老井伊直弼ここに死す — 桜田門外の変跡

- ①万延元年(安政7年)3月3日(現在の4月)。小雪降る早暁。大老井伊直弼、安政の大獄に反対する尊皇攘夷派水戸浪士ら18名の襲撃を受け横死。悪天候が天運を分ける。一瞬。主君の首とられるも茫然、あと追う家臣なし
- ②白昼一国の最高責任者が暗殺されるなど考えられないこと。事件契機に幕府権威は一気に失墜、急ガケを転がり落ちるように明治維新へ。江戸開城まで8年

9) 濠水と松、緑が美しい — 桜田濠

- ①江戸城でもっとも美しい濠。なだらかな土塁、はちまき土居
- ②慶長11年、2代将軍秀忠が構築。土塁は家康指示。16年大拡張工事。伊達政宗、鍋島勝茂ら担当

10) いかめしい門。圧倒する渡櫓 — 桜田門(外桜田門)から入る

- ①升形門。現存重要文化財。ほかに田安門、清水門。大手門などは一部現存だが指定なし
- ②2の門高麗門=格式高い門。支柱2本に切妻屋根。内側直角に支柱2本それぞれに小型切妻屋根。上からみるとコの字形。鉄板張り。
- ③内升形右折れ=周囲を石垣と濠で囲む(通常は4面石垣)。攻め入りにくく直進はない。入ると密室。周囲から弓鉄砲が。攻守の拠点。ガンギ坂、狭間か銃座
- ④渡櫓門=両側に石垣を積み、2階部分に渡櫓。中央に鉄板張り大御門。大入母屋屋根本瓦葺き、シャチ、2階は空洞で武器倉庫。緊急時は窓開いて弓鉄砲。巨大な梁、柱、石材に注目
- ⑤大番所跡、ガンギ坂

11) 江戸時代、日本の政治を動かした幕閣たちの官邸がならぶ — 皇居前広場、西の丸下跡

- ①江戸城本丸、西の丸と隣接した重要拠点。老中、若年寄ら幕閣の官邸が並んだ。松平定信、間部詮勝、松平乗邑、堀田正睦、安藤信正、板倉静勝邸などに
- ②明治維新後、元勳邸、新政府官庁街をへて宮城前広場。終戦後連合軍に接收、米軍閲兵式も経験
- ③昭和26年、国民広場として開放、60年安保、沖縄返還闘争などの決戦場ともなった

12) 東京観光の定番 — 二重橋

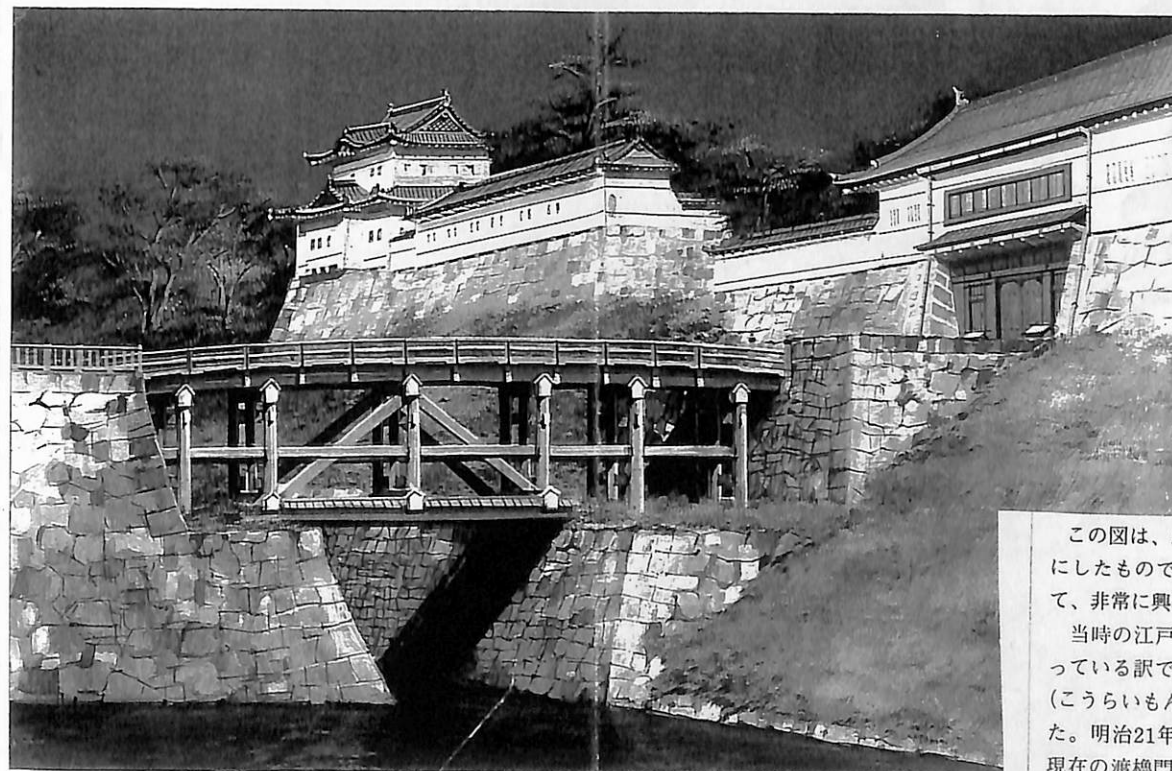
- ①手前石橋、奥鉄橋。2重に見える橋と思っている人が多い。江戸時代、手前の橋は西の丸大手門。奥の橋は西の丸下乗橋だが、濠が深く橋を二重構造にしたので二重橋ともいった。
- ②皇居の正門。天皇の公式外出、国賓、各国大使の参内、一般参賀以外開かない開かずの門

13) 伏見城から移築した — 伏見櫓と多門

- ①二重橋とともに皇居の象徴。伝寛永6年豊臣秀吉の伏見城から移築。大正14年の関東大震災で倒壊、鉄筋コンクリート復元。富士見櫓、巽櫓と共に江戸城櫓現存3基の1つだがいずれも文化財としては指定されていない。
- ②二重櫓、入母屋屋根シャチ、初重6×5間平側千鳥波風、2重平側千鳥波風。白壁の多門

14) 幕末4年間の仮本丸、江戸開城の西の丸跡 — 皇居昭和宮殿

- ①内部はかつての江戸城西の丸跡。慶長16年徳川家康の隠居城として構築されたが、本人は駿府で大御所政治を行なったので居住なし。3代将軍家光が世子時代、寛永元年からは引退した秀忠とお江が隠居城とし、以後、歴代将軍家の隠居城、世子城とされた。
- ②幕末風雲急を告げた14代家茂の元治元年、本丸、2の丸、3の丸が焼失、幕府は西の丸に仮御殿を造営、明治維新までの4年間、仮本丸とした。
- ③慶応4年、鳥羽伏見の戦いに敗れた15代将軍慶喜が西の丸に逃げ帰り、4月11日無血開城。江戸時代は終わった。
- ④明治元年(慶応4年)明治天皇が入城、東京遷都。しかし明治6年女官部屋から出火全焼。21年明治宮殿を完成させるが昭和20年戦災焼失。現在の皇居は昭和43年に建造された昭和宮殿で奥深く天皇、皇后が居住されている。



西の丸下乗橋

この図は、約130年前の慶応2年頃の写真をもとに絵図にしたものです。現在の姿(テレホンカード)と比較して、非常に興味深いものがあります。

当時の江戸城西の丸大手門が、現在の皇居の正門となっている訳ですが、もともとはこの門のすぐ前に高麗門(こうらいもん)があって、一種の櫓形をつくっていました。明治21年の明治宮殿造営の際に高麗門は撤去され、現在の渡櫓門(わたりやぐらもん)のみとなり、名称も翌年から正門と改められました。

手前の木橋(西の丸大手橋)は、明治21年12月に石造の橋に、奥の木橋(西の丸下乗橋)は、明治21年10月に鉄の橋に、それぞれ架け替えられました。

二重橋の名前は、この奥の木橋が架けられていた部分の濠(ほり)が深く、図のように、橋桁が二重に組まれていたために起こったようで、既に寛政時代の文献にも二重橋という名がみえています。

宮内庁で使用している名称は、それぞれ「正門石橋」「正門鉄橋」ですが、一般的には、この二つの橋を総称して二重橋と通称されていると考えてよいでしょう。なお、現在ある奥の鉄橋は、昭和39年6月、新宮殿造営に際して架け替えられています。

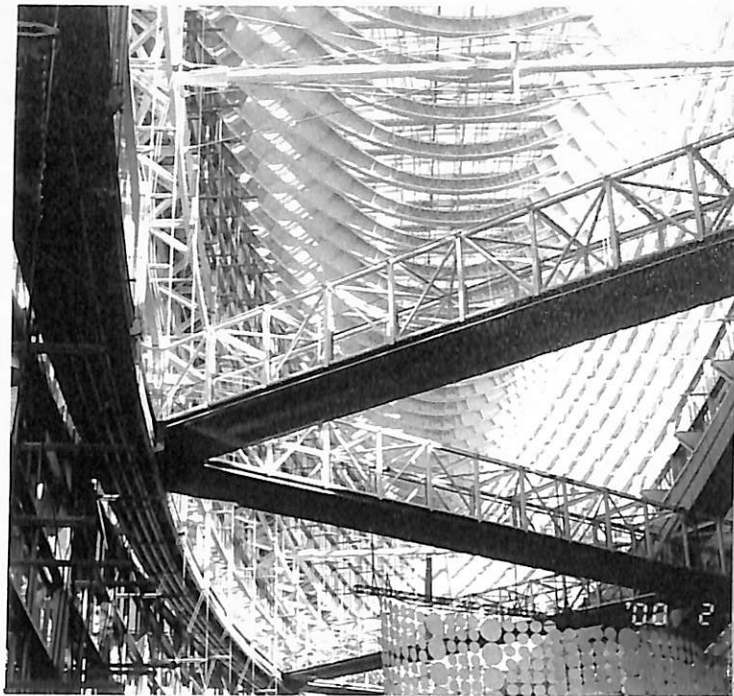


皇居二重橋



← マッカーサー像

→ 国際フォーラム



- 2 1) 大名屋敷が続く丸の内 — 大名小路
丸の内真ん中の道。江戸時代は東京駅先から有楽町まで2キロにわたって大名屋敷が続いた。総登城日は行列ラッシュ。順番通り登城するため街角に係員を配備して交通情報を伝達した
- 2 2) 都庁はいま?あまりの変わりよう — 国際フォーラム
①江戸時代は蜂須賀高知24万石藩邸。山内一豊の妻ものがたり。幕末の豊信(容堂)反井伊直弼派、14代将軍に慶喜擁立失敗。のち将軍に就いた慶喜に大政奉還を建白
②明治27年~平成3年=都庁。ドイツ式赤レンガ2階建て洋館。戦災焼失。以後増改築くりかえし新宿副都心に移転
③平成3年~=国際フォーラム。A B C D館、ガラス館。都庁の面影はない
- 2 3) 「有楽町であいましょう」いまはむかし — そごうデパート跡
昭和32年~平成12年=そごうデパート。フランク永井の「有楽町であいましょう」は開店のコマースソング。デート待ち合わせの名所入口エアカーテンも固く閉ざされて平成12年閉店。

1 5) 日本最初の洋風庭園 — 日比谷公園

- ①明治36年陸軍の日比谷練兵場跡に作られた日本最初の洋風庭園。16万㎡。後楽園ドームの3倍。設計本多静六、総工費30万円
- ②開園当時のガス灯、水のみ、鶴の噴水、各門の周辺御門旧蹟礎石、旧江戸上水道石升
- ③戦前は戦勝祝賀会、政府首脳、軍人国葬が繰り返され日本が軍国化していく姿をながめ、日露講和反対、電車値上げ反対、大正政変、60年安保、沖縄返還闘争の舞台にも

1 6) 長州征伐で取り壊された — 毛利荻山口藩邸

- ①慶長8年~元治元年 毛利36万石上屋敷、1.7万坪。下屋敷は麻布龍土3.2万坪
- ②毛利敬親は尊攘派急進大名。明治維新をはたすが実権は明治元勳に幕府は第1次長州征伐に先立って江戸屋敷を没収、藩士は捕らえられた。厳しい監禁51名死亡

日比谷公園で昼食。 集合は 時 分 朝集合の日比谷交差点口(有楽門)

1 7) ヤン・ヨーステンの住んだ — 八代洲(八重洲)河岸(日比谷通り)

- ①丸の内の南端。丸の内、八代洲=地名は前出参照。大名屋敷の街三井、三信ビル=笠間牧野藩5万石
交差点、パークビル=若年寄役宅、加納永井藩3万石
第一生命=古河土居藩8万石
- ②明治維新後、明治元勳、京都から転勤した公卿邸に中山忠能、孝子=孝子は孝明天皇に仕え明治天皇の生母に。忠能は天皇の外祖父、尊攘急進派公卿として活躍。倒幕密勅の作成者とも。明治12年邸内に幼い大正天皇迎え養育
有栖川宮 仁親王=元皇女和宮許嫁で新政府東征軍大総督
大隈重信=反骨政治家、早稲田大学創設者。伊藤博文、井上馨、五代友厚など集まる
岩倉具視=倒幕運動陰の演出者
- ③山カン横丁跡
明治末期から大正時代にかけて、体制への不平不満をなげく1山組が集る尾崎司郎「人生劇場」の舞台。本人もここに勤めた

1 8) 親しまれたマッカーサー元帥の愛用椅子 — 第一生命GHQ連合軍総司令官室

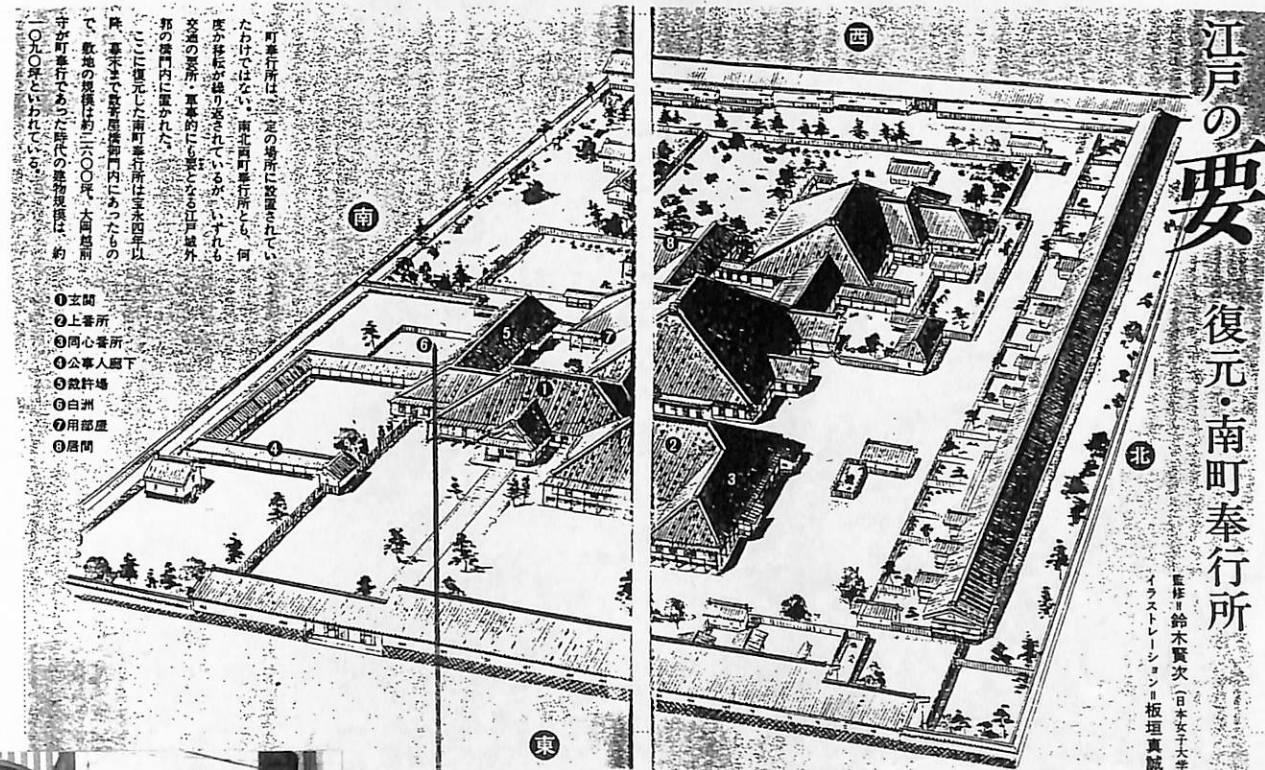
- ①昭和20年敗戦。連合軍兵士が大挙進駐、有楽町の焼け残りビルを次々と接收した
第一生命にはGHQがおかれた
- ②初代総司令官 昭和20年~26年=マッカーサー元帥 老兵は死なずただ消え去るのみ
2代" " 26年~27年=リッジウエイ大将
- ③総司令官室 会議室、マッカーサー元帥使用の机、椅子などが現存

1 9) 巨大池田屋敷門が上野公園に健在 福島正則邸、鳥取池田藩邸

- ①慶長9年~元和5年=福島正則邸。豊臣秀吉の腹臣。関が原の戦いで徳川方について広島49万石をえるが、広島城修築口実に改易
- ②元和7年~慶応4年=鳥取池田32万石上屋敷。敷地面積1.3万坪
表門を上野国立美術館に保存
- ③明治元年~23年=官軍総督府本営、兵部省、陸軍省、東京鎮台、第1師団司令部。軍都に
- ④明治44年~大正12年=初代帝国劇場。きょうは帝劇、あすは三越。松井須磨子、川上貞奴活躍

2 0) 赤レンガを連ねた三菱村 — 三菱丸の内ビル街

- ①明治21年、市区改正条約制定。都市計画で有楽町の軍部を青山に移転
跡地10万坪を三菱岩崎弥之助購入。坪10円、合計100万円。現在の地価は?
- ②明治後期にかけて丸の内に赤レンガ街出現。昭和40年代丸の内再開発計画で一新



お白洲



南町奉行所

南町奉行所跡
江戸町奉行は江戸幕府の職制で寺社奉行、定奉行とともに三奉行の一つである。江戸幕府はこれを重視し、老中の支配下に置いた。町奉行は配下の本所奉行、道役、小町奉行、寄場奉行、町年寄を指揮し、その職掌は江戸府内の行政、司法、警察のつとめに及んだ。定員は二名で、南北両奉行所に分れ月番で交替に執務したが、時に任命され、役料は三千石、英管間詰で勤定奉行の上座、堂下に与力、同心がいた。南町奉行所は有楽町駅の南側で、マリオン北の一角がかつての場所であったといわれ、名奉行大岡越前守忠相(任期は享保二年(一七一七)二月~元文元年(一七三三)八月)も南町奉行の一人であった。

東京都教育委員会

15
民
ソフ
ト
ト
ビ
エ
に
成
っ
た
ト
リ
マ
に
用
任
さ
れ
る
世
界
の
強
国
日
本



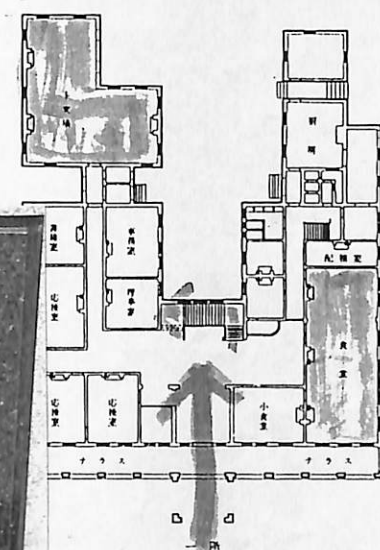
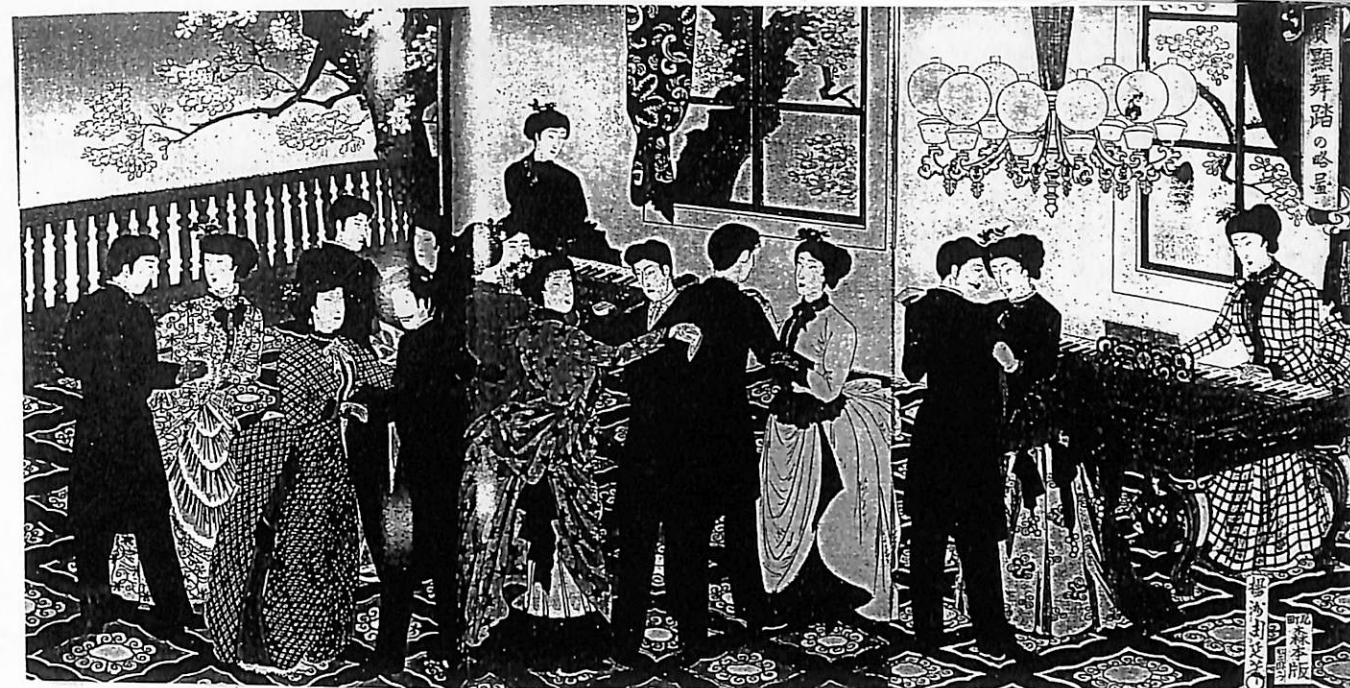
- 24) 生類哀れの令のころの江戸 — 第一勅銀ディスプレイ
 宝永4年1704年。5代将軍綱吉末期の江戸。石川流宣作。現在地は松平和泉守邸
 天守閣=明暦大火で焼失、本来はない。側用人から大老にすすんだ柳沢吉保邸もある
- 25) 江戸→明治→大正→昭和→平成。有楽町の変遷をながめた歴史の証人 — 有楽稲荷神社
 ①幕末安政6年1859、永井高槻藩が天下泰平と子孫繁栄を祈願して創立。手洗鉢は翌万延元年と刻まれている。
 ②維新後の明治41年改修、有楽町の守り神として町内氏子に崇拜されている。
- 26) ヤミ市街、カストリ横丁、すし屋横丁。戦後の混乱期思い出の街 — 有楽町駅と駅周辺
 ① 有楽町駅。明治43年開業。周辺ガードは百年の歴史を刻んで健在。
 ② 駅前ロータリーと交通会館一帯は終戦直後のヤミ市街、カストリ横丁、寿司屋横丁跡。終戦直後、東京には衣食住そして職場がない。人々は食うや食わずでヤミ市を彷徨った。新橋、新宿と並ぶ3大ヤミ市街。交通会館の地はカストリ横丁と呼ばれ、駅前ロータリーはスシ屋横丁で賑わった。
 ③ 駅周辺の朝日街、中央通り商店街、ガード周辺は戦後の雰囲気を与えている。

- 27) 大岡越前守や遠山の金さんでおなじみ — 南町奉行所跡
 ①宝永4年~慶応4年=南町奉行所。奉行の任務=市政を統括=都知事+警視総監+消防庁長官
 旗本ですぐれた人材を抜擢、3千石高
 午前江戸城、午後奉行所。判決は日に60件とも。非常な激務。南北奉行が1か月交代
 ②大岡忠相=吉宗のブレーンとして享保の改革推進。三方1両損、地蔵しぼり、天一坊事件……
 大岡政談のほとんどのフィクションか他の人、中国の故事
 鳥居忠よう=水野忠邦の蛮社の獄でらつ腕。鬼のよう蔵、ヨウカイと恐れられた
 遠山景元=桜ふぶきのイレズミ金さんで有名。鳥居と対立して北町を失脚、南町に返り咲く
 小栗忠順=幕末期のタカ派、のち陸軍奉行、勘定奉行を歴任。埋蔵金説で有名
 佐久間信義=最後の奉行。市政裁判所主任をへて新政府に引き継ぐ
 ③敷地2.6千坪。建坪1.8千坪。銀座側に長屋門正門、表(役宅)、裏(官邸)、白砂はやや奥

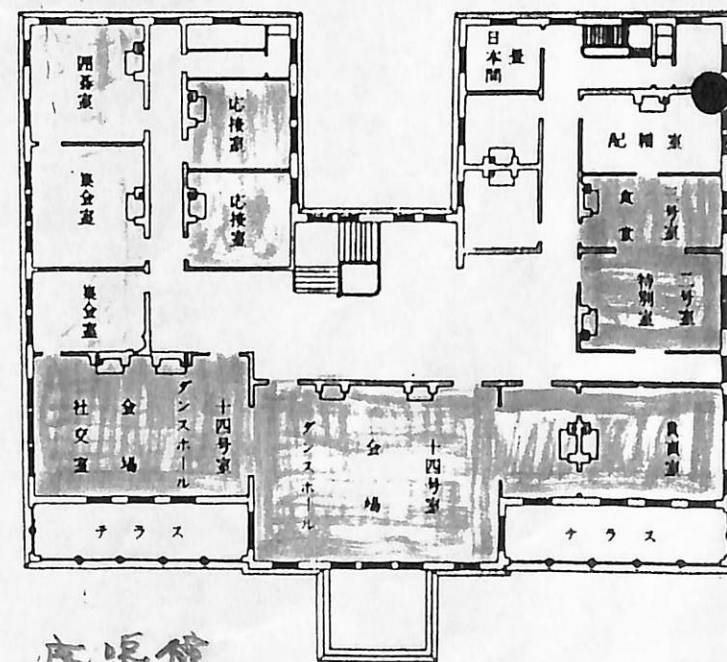
- 28) カラクリ時計は待ち合わせスポットNo.1 — 有楽町マリオン
 ①数寄屋橋御門升形跡。寛永6年、伊達政宗構築。銀座側は城下町、有楽町側は江戸城
 橋台、木橋、高麗門、内升形左折れ、渡櫓門(17×4間)、大番所
 濠水は木橋の下をゴゴと音をたてて流れた
 ②昭和8年~56年=日劇。笠置シズ子の東京ヴギヴギ、ウエスタンカーニバル、春秋おどり
 日劇ミュージックホール、日劇チャンスセンター

- 29) 「君の名は」で女湯がカラに — 数寄屋橋、数寄屋橋公園
 ①明治40年木橋、昭和4年コンクリート橋、32年外堀埋め立て、高速道路新数寄屋橋。
 ②数寄屋橋ここにありき碑。碑石は旧数寄屋橋らんかん
 昭和27年~29年。NHKラジオ木曜午後8時30分「君の名は」放送。試聴率58%、女湯がカラに

- 30) 有楽町の語源=織田有楽斎の住居跡 — 泰明小学校
 ①慶長ころ=信長の弟織田有楽斎が居住、有楽町の語源に。大和3万石、茶人として有名



鹿鳴館跡
 ここはもと薩摩の装束屋敷の跡で、その黒門は戦前まで固まっていた。その中に明治十六年鹿鳴館が建てられ、戦後の混乱期時代の茶室地になった。
 千代田区



鹿鳴館

二階

- ②泰明小学校=明治11年、銀座子弟対象に開校。創立100年。島崎藤村、北村透谷ここに学ぶ
 昭和20年5月戦災、被弾
 ③御幸通り。中世貴族の門扉
- 31) 銀座側城外と外桜田外郭を結んだ江戸城で一番小さな門 — 山下御門
 ①寛永13年、細川忠利建立。明治6年撤去。銀座側城外と外郭を結ぶ。小さな升形門
 ②土橋、高麗門、内升形直進、渡櫓門
- 32) 国策ホテルとして出発、明治村に保存 — 帝国ホテル
 明治23年、準国立ホテルとして創業。大正12年~昭和42年赤レンガ2代ホテルを明治村に保存
- 33) 政府高官、夫人が慣れないステップ — 鹿鳴館跡
 ①慶長15年~慶応4年=島津薩摩77万石上屋敷、中屋敷 装束屋敷。島津義久関が原の合戦で西軍についたが旧領を許される。嫡子家久拝領。後期は付よう琉球国王の宿舎
 ②薩摩屋敷正門が戦前まで残ったが昭和20年戦災焼失
 ③明治13年~23年=鹿鳴館。コンドル設計、赤レンガ造り2階、ゴシック風建築
 不平等条約改正にはわが国の先進、洋風化アピールが不可欠として豪華な舞踏会場を建立。
 外国使官を招いて舞踏会を開催するが条約改正交渉失敗で廃止
- 34) よみがえるむかし青年の青春の地 — 有楽町映画街
 ①戦前戦後を通じ、浅草とならぶ日本最大の映画街
 ②昭和9年~59年=日比谷劇場(洋画)、昭和16年~59年有楽座(洋画、演劇)
 ③昭和9年~=宝塚劇場(演劇)。平成13年1月リニューアルオープン